

2024年6月12日

マイナビティーンズラボ

マイナビティーンズラボ

【2024年上半期】10代女子が選ぶトレンドランキングを発表！

日本最大級のサバイバルオーディション番組でデビューした「ME:I」が初ランクイン

ウタ部門では、「BBBB ダンス」でおなじみの「Bling-Bang-Bang-Born」が1位

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）が運営する、ティーンのマーケティングやリサーチを行う『マイナビティーンズラボ』（URL:<https://cm-marketinglab.mynavi.jp/teenslab/>）は、「2024年上半期 10代女子が選ぶトレンドランキング」を発表しました。

本ランキングは、2024年上半期に流行した「ヒト・コト・モノ・コトバ・ウタ」の5ジャンルについて、13～19歳の女性682名にアンケート回答を集計したものです。

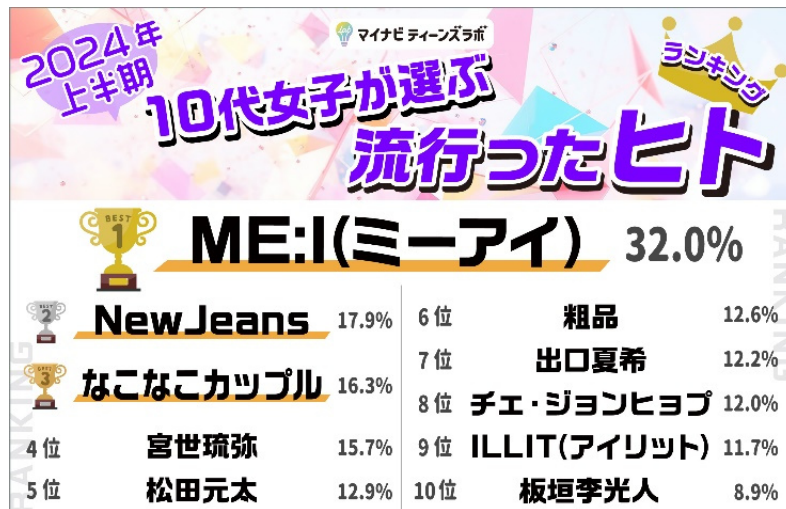


【ランキング概要】

2024年上半期のトレンドランキングは、コト部門でランクインした「猫ミーム」の動画内で使用されていたフレーズがコトバ部門でもランクイン。また、ウタ部門1位の「Bling-Bang-Bang-Born」が起点となって、アニメやダンスが話題になり、コト部門で「BBBB ダンス」がランクインするなど、部門を越え流行していく傾向もみられた。

そして、前年から話題を集めていたSNS「BeReal.」は10代女子の定番SNSとしての地位を確立した。

さらに、コト部門では映画やアニメ、モノ部門ではお菓子やフードがランクイン。近年の傾向と変わらず、トレンドの情報元はTikTokでありつつも、TikTok上で流行りを見聞きするだけでなく、実際に購入したり劇場に足を運んだりなどリアルに体験したものが票を集める結果となった。

【ヒト部門】

【ヒト部門 (TOP3)】
1位：ME:I (ミーアイ) (32.0%)

日本最大級のサバイバルオーディション番組「PRODUCE 101 JAPAN THE GIRLS」、通称「日プガールズ」で選抜され、4月にデビューを果たした11人組ガールズグループ。番組を見ていた10代女子が多く、番組のテーマソングもウタ部門9位にランクイン。

【「ME:I」様からの受賞コメント】

この度は、このようなランキングでME:Iが1位を獲得させて頂けたことを、本当に光栄に思います！！まさにME:Iは「未来のアイドル」というテーマを掲げて、今の若い世代にとってファッションや音楽や様々な分野でのアイコンとなるアイドル像を目指しているグループです。デビューしたばかりでまだまだこれからですが、大きく、一歩前進できたような気がして、心から嬉しく思います(^^) これからも、もっともっと愛される、常にホットなグループあり続けられるようメンバー11人皆でME:Iらしく頑張ります！！

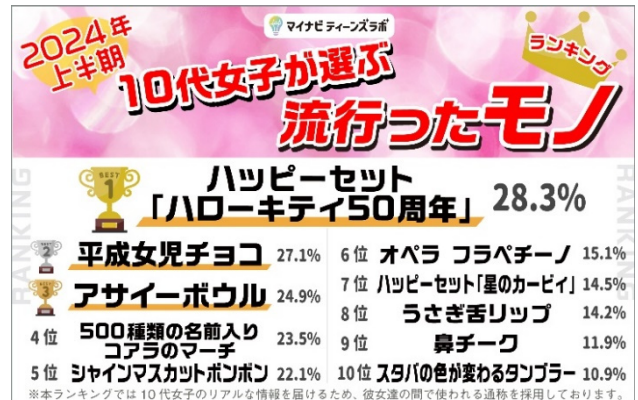
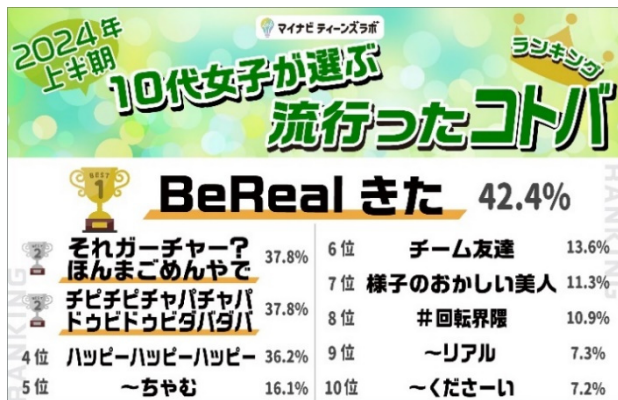
2位：NewJeans (ニュージーンズ) (17.9%)

韓国の5人組ガールグループが昨年に引き続きランクイン。彼女たちの楽曲やファッションは常に10代女子の注目を集め、話題が尽きない。2024年6月には日本デビューを控えており、海外アーティスト史上最速となる東京ドームでの単独公演も開催予定。さらなる旋風を巻き起こすことが期待され、今後も目が離せない。

3位：なこなこカップル (16.3%)

「なごみ」「こーくん」の愛称で人気を誇るカップル YouTuber。チャンネル登録者数は159万人（2024年5月時点）を超え、モデルやタレントなど個人での活動も幅広く行っている。2024年3月に開催された「東京ガールズコレクション 2024 SPRING/SUMMER」の中で、結婚を発表。10代女子の間では「以前から人気だったが、結婚報告で今年はより話題になった」という声が多かった。

【コトバ部門／モノ部門】



【コトバ部門 (TOP3)】

1位：BeReal きた (42.4%)

2023年のモノ部門にランクインしていた「BeReal.」は、今や10代女子にとって欠かせないSNSのひとつ。アプリから通知が届き、2分以内に写真を撮影して投稿しなければならない仕組みだが、通知のタイミングはランダムであるため、突然通知が来ると、「BeReal きた！」と反応するのが日常となっているようだ。

2位：それガーチャー？ほんまごめんやで (37.8%)

ドラマ「セイジョー～「払えない」にはワケがある～」の劇中において、菊池風磨と今井アンジェリカの掛け合いとして使用されたことが発端となり、様々なアイドルやインフルエンサーの間で浸透していった。「それガーチャー？」とは「それ本当？」を意味しており、10代女子の間では、誰かが「それガーチャー？」と言うと、合の手のようにみんな「ほんまごめんやで」と言って盛り上がるのが定番となっているようだ。

2位：ちピちピチャパチャパドゥビドゥビダバダバ (37.8%)

猫ミームの素材として使用されたフレーズがコトバ部門でランクイン。実はチリで20年前にリリースされた「Dubidubidu (ドゥビドゥビドゥ)」という曲のフレーズであり、1度聞いたら耳から離れない中毒性の高さが話題に。「つつい口ずさんでしまう」という10代女子の声が多く挙がった。

【モノ部門 (TOP3)】

1位：ハッピーセット「ハローキティ 50周年」 (28.3%)

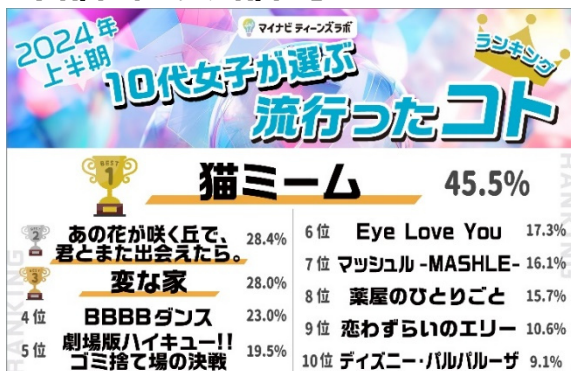
マクドナルド「ハッピーセット」とハローキティ50周年を記念したコラボレーションが堂々の1位に。セットのおまけとしてついてくる全50種類のキティのぬいぐるみがかわいいと、10代女子の間で人気となり、「ぬいぐるみが欲しくてマックをハシゴしたけど、全然買えなかった」という声も。

2位：平成女児チョコ (27.1%)

平成に小学生の女の子が作っていたような、溶かしたチョコをアルミカップに流し入れ、上からカラフルなスプレーチョコや銀色のアラザンをふりかけた手作りチョコのことで、バレンタインデーに話題となった。小学生当時にそのチョコを作っていたミレニアム世代からは「懐かしい！」という声が多く挙がったが、Y2Kブームが続いている10代女子にも刺さったようだ。

3位：アサイーボウル (24.9%)

2013年頃に大きなブームを巻き起こしたアサイーボウルの人気再燃。特に表参道では専門店がひしめき合い、行列ができるほどの人気ぶりだ。SNSで話題となった「THE_B」や2024年4月にオープンしたハワイの大人気店「ラニカイジュース」など、人気の専門店が増えておりこれからもブームは続きそうだ。

【コト部門／ウタ部門】

【コト部門 (TOP3)】
1位：猫ミーム (45.5%)

TikTokをはじめ、YouTube や X 上でも大流行した猫ミームが 1 位に。猫ミームとは、思わずクスッと笑ってしまうようなエピソードやあるあるネタを、猫の画像や動画を素材として、コメントやキャプションをつけて再編集した動画のこと。10 代女子が口を揃えて「自分で動画を作ったりはしないけど、とにかく SNS でよく流れてきた」と回答していた。

2位：あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。(28.4%)

興行収入 40 億円以上を記録した大ヒット作がランクイン。福原遥・水上恒司主演の、戦時中の日本にタイムスリップした女子高生と、特攻隊員の青年の恋を描いたラブストーリー。映画の公開は 2023 年 12 月 8 日だったものの、徐々に人気が高まり 2024 年の上半期も 10 代女子の間で話題に。「切ないストーリーに心を打たれた」「周りの友達がみんな見に行っていた」などの声が挙がった。

3位：変な家 (28.0%)

YouTube の再生回数 2000 万回を超えるミステリー動画の映画化作品。ユーチューバーの雨穴（うけつ）が 3 年ほど前に WEB メディアで公開した記事「不動産ミステリー 変な家」をベースにした内容となっている。独特な世界観と、ホラーテイストの見ごたえのあるストーリーに好奇心がくすぐられた 10 代女子が多いようだ。

【ウタ部門 (TOP3)】
1位：「Bling-Bang-Bang-Born」Creepy Nuts (30.9%)

テレビアニメ「マッシュル-MASHLE-」の主題歌として Creepy Nuts が書き下ろした楽曲で、リリース後は瞬く間に大ヒット。10 代女子の間では「歌うのが難しいが、癖になる」と話題になった。アニメはもちろん、楽曲名の頭文字をとった「BBBB ダンス」が TikTok で流行し、アニメ・ダンスともにコト部門にもランクイン。10 代女子の 2024 年上半期の話題の中心となった。

2位：「晚餐歌」tuki. (22.6%)

突如登場した高校生アーティスト tuki. のファーストデジタルシングルが 2 位にランクイン。TikTok で公開された「晚餐歌」は一気に話題となり、Spotify の「バイラルトップ 50 - 日本」では初登場で 1 位を獲得するなど各音楽チャートでランクイン。YouTube で公開中の MV は 4280 万回超え（2024 年 5 月時点）と異例の記録となっている。「晚餐歌はカラオケでよく歌う！」という声が多く、10 代女子の新たな定番曲となっているようだ。

3位：「全方向美少女」乃紫 (21.8%)

作詞・作曲に加えて、編曲・映像制作に至るまでセルフプロデュースを行うソロアーティスト・乃紫（noa）の楽曲。TikTok で曲が公開されると、“TikTok Weekly Top”で 2 週連続 1 位を獲得。「正面で見ても横から見ても下から見てもいい女」のフレーズに合わせてアングルを変えながら撮る動画が 10 代女子の間で流行し、人気となった。

※ トップ 10 をはじめ、ランキングの詳細はサイトで公開中！

<https://cm-marketinglab.mynavi.jp/column/trendranking2024/>

<マイナビティーンズラボ「2024 年上半期 10 代女子が選ぶトレンドランキング」概要>

調査方法： 『マイナビティーンズ』メンバー78 名よりフリーアンサーで抽出したワードの中から、JK 編集部が 5 つのジャンルごとに 30 項目をピックアップ。その中から『マイナビティーンズ』会員と外部調査会社のパネルにアンケート調査を実施

回答数： 13～19 歳の女性 682 名（複数選択式）

調査期間： 2024 年 4 月 11 日（木）～2024 年 5 月 7 日（火）

『マイナビティーンズラボ』とは？

「マイナビティーンズラボ」は、ティーン向けプロモーション事例やティーンの最新トレンド、7,000 名以上の JK メンバーで自主調査したりサーチデータなど、ティーンのプロモーションをお考えの方に役立つ情報発信を行うサイトです。（URL：<https://cm-marketinglab.mynavi.jp/teenslab/>）

なお、10 代女子へのトレンド調査・ランキング発表は 2015 年から行っており、今年で 10 年目です。

【本件に関するお問い合わせ先】

『マイナビティーンズラボ』編集部

嶺岸／三上／水上

Email：w.is_sales@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ】

株式会社マイナビ

社長室 広報部 小池

Email：koho@mynavi.jp